

(2)

革新同盟の派閥は、総同盟を彼等の官僚主義組合利己主義から救ひ出し、官僚幹部の総同盟を再び組合員全員の総同盟、労働組合全員の総同盟たるしめんとする運動であつた。それと同時に革新運動は総同盟の一致を確立し、官僚幹部の分裂政策を阻止せんがために、有らゆる努力をし、之が爲には有らゆる壓迫、屈辱を忍んで、あくまで総同盟の内部に留まる固き決意の下に行動した。然るに革新的氣運が組合大衆の間に勢力を増大し、苟くも革新運動の存する限り、彼等が最早平和のうちに資本家官僚と取引するこの不可能なことが明かされるや、彼等は革新同盟所屬組合を除名して、総同盟分裂の確定の計畫を遂行した。彼等は自己の官僚的地位と勢力とを維持し、何等の制肘をも受けなくて改良主義と協同政策に走り人がためにには惜むるなく組合運動の中心勢力を破壊することすらも躊躇しなかつた。

革新同盟が分裂防止のために有らゆる努力と犠牲を拂つたにも拘らず、革新同盟所屬組合を除名により、総同盟の分裂は最早教ふべからざる事實となつた。総同盟は今や約半数の組合員と組合員とを失つたばかりでなく、健全分子の大多数を失つて、事實上に壊滅したものである。

然しながら官僚幹部の手に残つた総同盟の残骸のうちにも、尙多くの健全分子の存在することを忘れてはならぬ。否一般組合員は、決して少数幹部の官僚主義と裏切行動とを是認するものではない。彼等をして去就を誤らしめたものは現に彼等を率ゐてゐるミロウの、官僚幹部の爪牙である。現に何れの組合にも、今日既に正義の

(3)

立脚を守る少数派が存在してゐる。官僚幹部は革新同盟所屬組合を除名によつて、革新同盟から革新的精神と二指し得たかの如く考へてゐる。彼等は最早何者にも裏らはせられなくて、思ふがままに資本家官僚と取引し、思ふがままに妥協と協同に進み得ることを考へてゐる。彼等は近い将来に必ずその脚下から、第一第三の革新同盟の生れることを悟らない。彼等の政策が労働大衆の利益を裏切つてゐる限りは、労働大衆は彼等の指導を裏切るに相違ない。

舊日本労働総同盟は、今や事實の上に壊滅した。日本労働組合評議会はその廢墟の上に建てられた新たな組織であり、労働階級の新たな牙城である。然しながら官僚幹部の興つた指導と政策との下には、尙一萬の俵友の運命が弄はれてゐる。吾々は是等の俵友が、組合官僚の野心の道具となり、興つた政策の犠牲となることを傍観することは出来ぬ。彼等は多年の俵友であり俵友である。吾々は眞實に彼等の利益と要求とを代表した實際政策を以て彼等に訴へ、幹部の裏切的政策と吾々の闘争的政策とを明白に對立せしめる。こによつて、彼等の階級意識に訴へなければならぬ。

革新運動は、舊同盟を救はんとする運動であつた。吾々はこの努力が、官僚幹部の分裂政策のために、遂に無効に歸せしめられたことを眞率に承認し、吾々の力の足りなかつたことを、全労働階級に告白しなければならぬ。舊日本労働総同盟は壊滅した。